



2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月8日

上場取引所 東

上場会社名 わらべや日洋ホールディングス株式会社

コード番号 2918

URL <https://www.warabeya.co.jp/ja/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 辻 英男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員

(氏名) 浅野 直

(TEL) 03-5363-7010

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第3四半期の連結業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第3四半期	177,731	5.0	7,575	41.6	7,632	33.0	5,781	58.9
2025年2月期第3四半期	169,283	10.5	5,351	△2.1	5,738	△2.1	3,639	5.0

(注) 包括利益 2026年2月期第3四半期 4,147百万円 (10.0%) 2025年2月期第3四半期 3,768百万円 (△20.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第3四半期	332.44	—
2025年2月期第3四半期	208.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第3四半期	130,733	61,021	44.8
2025年2月期	120,924	59,124	46.9

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 58,522百万円 2025年2月期 56,670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭 —	円 銭 45.00	円 銭 —	円 銭 45.00	円 銭 90.00
2026年2月期	—	60.00	—		
2026年2月期(予想)				60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年2月期の連結業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	234,500	5.4	7,300	61.7	7,200	47.0	5,450	103.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更に関する注記）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） |

2026年2月期3Q	17,625,660株	2025年2月期	17,625,660株
2026年2月期3Q	309,778株	2025年2月期	157,455株
2026年2月期3Q	17,392,283株	2025年2月期3Q	17,465,335株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足資料の入手方法)

決算補足資料については、Talentで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

(<https://www.warabeya.co.jp/ja/index.html>)

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(収益認識関係)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより緩やかに回復しました。一方で、継続した物価上昇による消費者マインドの下振れへの影響や長期化する不安定な世界情勢、金融資本市場の変動リスクなどもあり、先行き不透明な状況が続いています。

食品業界では、原材料価格、労働コストや物流費の上昇に伴う商品価格の値上げが継続するなかで、先行きの不安などから消費者の節約志向が高まっており、厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、主力事業である食品関連事業における商品規格の見直しにより、1,777億3千1百万円（前年同期比84億4千8百万円、5.0%増）となりました。

利益面では、食品関連事業においてコメを中心に原材料費が増加したものの、商品規格の見直しにより、営業利益は75億7千5百万円（前年同期比22億2千4百万円、41.6%増）、経常利益は76億3千2百万円（前年同期比18億9千4百万円、33.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は57億8千1百万円（前年同期比21億4千2百万円、58.9%増）となりました。

セグメントごとの事業概況は、以下のとおりです。

[食品関連事業]

売上高は、商品規格の見直しにより、1,596億4千1百万円（前年同期比86億5千5百万円、5.7%増）となりました。営業利益は、伊勢崎工場の初期赤字があったものの、商品規格の見直しや入間工場の収支改善などが寄与し、69億5千1百万円（前年同期比18億4千3百万円、36.1%増）となりました。

[食材関連事業]

売上高は減少している一方、おにぎり具材などの取扱高増加により商品構成が良化しており、売上高は85億8千万円（前年同期比1億1千6百万円、1.3%減）、営業利益は4億6千2百万円（前年同期比4千1百万円、9.8%増）となりました。

[物流関連事業]

売上高は、ネットスーパー向け宅配事業の取扱高が減少したことにより、95億1千万円（前年同期比9千万円、0.9%減）となりました。一方、営業利益は、労働コストの上昇があったものの、共同配送事業の取扱高増加と運賃改定の効果により、8億9千万円（前年同期比3億2千8百万円、58.5%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて98億8百万円増加し、1,307億3千3百万円となりました。これは、有形固定資産および売掛金が増加したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べて79億1千1百万円増加し、697億1千1百万円となりました。これは、長期借入金、支払手形及び買掛金および未払法人税等が増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べて18億9千7百万円増加し、610億2千1百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金支払いの差引により利益剰余金が増加した一方で、為替換算調整勘定が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の通期の連結業績予想については、「2025年10月7日付「2026年2月期 第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値の差異、通期連結業績予想の修正、剰余金の配当（中間・増配）および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」で公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	8,450	10,864
売掛金	17,235	21,272
商品及び製品	2,080	2,282
原材料及び貯蔵品	2,347	2,109
その他	2,704	1,897
流動資産合計	32,818	38,426
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	77,284	75,306
減価償却累計額	△39,175	△38,619
建物及び構築物（純額）	38,108	36,686
機械装置及び運搬具	25,021	25,862
減価償却累計額	△17,569	△17,702
機械装置及び運搬具（純額）	7,451	8,160
土地	13,040	13,091
建設仮勘定	7,151	12,597
その他	16,997	17,396
減価償却累計額	△6,156	△7,017
その他（純額）	10,841	10,378
有形固定資産合計	76,593	80,915
無形固定資産		
その他	1,975	1,837
無形固定資産合計	1,975	1,837
投資その他の資産		
その他	9,649	9,556
貸倒引当金	△112	△2
投資その他の資産合計	9,537	9,553
固定資産合計	88,106	92,306
資産合計	120,924	130,733

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,637	11,064
1年内返済予定の長期借入金	2,524	3,124
未払金	8,864	8,877
未払法人税等	269	1,538
賞与引当金	1,555	2,482
その他	2,795	4,130
流動負債合計	25,647	31,216
固定負債		
長期借入金	20,071	22,653
リース債務	9,974	9,443
退職給付に係る負債	3,682	3,736
役員株式給付引当金	302	362
資産除去債務	1,525	1,622
その他	594	675
固定負債合計	36,152	38,494
負債合計	61,799	69,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,049	8,049
資本剰余金	8,100	8,100
利益剰余金	36,613	40,546
自己株式	△329	△730
株主資本合計	52,433	55,965
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	271	268
繰延ヘッジ損益	△2	6
為替換算調整勘定	3,412	1,813
退職給付に係る調整累計額	555	468
その他の包括利益累計額合計	4,236	2,556
非支配株主持分		
純資産合計	59,124	61,021
負債純資産合計	120,924	130,733

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	169,283	177,731
売上原価	138,798	142,879
売上総利益	30,484	34,852
販売費及び一般管理費	25,132	27,276
営業利益	5,351	7,575
営業外収益		
受取利息	69	50
受取配当金	374	328
受取賃貸料	160	157
持分法による投資利益	104	131
その他	116	226
営業外収益合計	825	894
営業外費用		
支払利息	263	279
賃貸収入原価	128	119
工場閉鎖費用	—	225
固定資産除却損	19	131
その他	26	81
営業外費用合計	438	837
経常利益	5,738	7,632
特別利益		
固定資産売却益	—	339
資産除去債務戻入益	—	116
特別利益合計	—	456
特別損失		
減損損失	309	46
特別損失合計	309	46
税金等調整前四半期純利益	5,429	8,042
法人税、住民税及び事業税	1,871	2,102
法人税等調整額	△351	△31
法人税等合計	1,520	2,071
四半期純利益	3,909	5,971
非支配株主に帰属する四半期純利益	270	189
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,639	5,781

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	3,909	5,971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	83	△3
繰延ヘッジ損益	△7	8
為替換算調整勘定	△282	△1,684
退職給付に係る調整額	13	△87
持分法適用会社に対する持分相当額	52	△57
その他の包括利益合計	△140	△1,823
四半期包括利益	3,768	4,147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,624	4,101
非支配株主に係る四半期包括利益	144	45

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱いおよび「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項（2）ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期および前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表および連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表および前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」等の適用)

「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第46号 2024年3月22日）を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、当該実務対応報告第7項を適用しているため、当第3四半期連結財務諸表においては、グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等を計上しておりません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	食品関連 事 業	食材関連 事 業	物流関連 事 業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	150,985	8,696	9,601	169,283	—	169,283
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	243	4,451	4,695	△4,695	—
計	150,985	8,940	14,052	173,978	△4,695	169,283
セグメント利益	5,107	421	561	6,090	△738	5,351

(注) 1. セグメント利益の調整額△738百万円には、セグメント間取引消去147百万円および報告セグメントに配分していない全社費用△886百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年11月30日）

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	食品関連 事 業	食材関連 事 業	物流関連 事 業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	159,641	8,580	9,510	177,731	—	177,731
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	217	5,226	5,443	△5,443	—
計	159,641	8,797	14,736	183,175	△5,443	177,731
セグメント利益	6,951	462	890	8,304	△728	7,575

(注) 1. セグメント利益の調整額△728百万円には、セグメント間取引消去120百万円および報告セグメントに配分していない全社費用△849百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	5,192百万円	5,272百万円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	
日本	130,339	8,696	9,601	148,637
米国	20,645	—	—	20,645
顧客との契約から生じる収益	150,985	8,696	9,601	169,283
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	150,985	8,696	9,601	169,283

当第3四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年11月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	
日本	139,608	8,580	9,510	157,698
米国	20,033	—	—	20,033
顧客との契約から生じる収益	159,641	8,580	9,510	177,731
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	159,641	8,580	9,510	177,731